

精神神経科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症の多面的比較研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原 祥裕
担当科等	精神神経科
研究責任者	(職名)講師(氏名)深津 孝英
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	レビー小体型認知症(DLB)とアルツハイマー型認知症(AD)の疾患質の違いを明らかとし、病態の理解を深めることを目的とします。
対象となる患者さん	2013年9月から2019年3月までに当院で臨床的にDLBあるいはADと診断された患者さんのうち、脳画像検査、記銘力検査、認知症周辺症状尺度、日常生活能力尺度、介護負担尺度の全ての項目を収集し得たDLBとAD患者さんを対象とします。
研究の方法	対象となる患者さんの診療で得られた情報をDLB群とAD群に分類し、平均年齢、性別、簡易認知テスト、聴覚言語性記銘力テスト、視覚性記銘力テスト、MRIアルツハイマー型認知症早期診断システム、日常生活動作スケール、認知症周辺症状スコア、Zarit介護負担尺度日本語版、抑うつスケールの各項目について、群間比較を行い、さらに各疾患群で相関分析を行い検討します。
研究期間	倫理審査承認日～2019年11月30日
研究に用いる試料・情報	情報：カルテ記載にある、年齢・性別・症状・神経心理検査結果・脳画像検査結果等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 精神科学講座

	担当者：講師（氏名）深津 孝英 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22130）
--	---